

■ クラブの特徴【行政が主導し、設立された総合型クラブ】

健康いきいき Enjoy 教室「ニュースポーツ」を中心に子供から高齢者、誰もが楽しく参加できる多様な種目を実施しています。生涯スポーツの推進・市民の健康増進・地域住民の交流機会のほか、ボウリング大会・芋煮会などの交流事業も開催しております。

令和6年度まで地域展開の一環として中学校部活動の支援を行ってきましたが、令和7年度からは、クラブ独自で中学生の受け皿となる活動を本格的に開始しました。現在はその取り組みとしてバスケットボールスクールを開講しています。また、未就学児を対象とした体づくり教室を開講し、基礎的な運動能力や運動習慣の支援を行っています。生活リズムの改善にもつながり子どもたちの心身の健やかな成長につながっております。会員が健康で楽しく、継続的に活動ができる環境づくりを目指していきます。



基礎 DATA

会員数	63名	●男性	15名
		●女性	48名
●幼児	13名	●中学生	14名
●60歳以上	36名		

住所：〒989-0218

白石市鷹巣東二丁目1番1号

TEL：0224-22-1290

FAX：0224-22-1289

E-mail：sougousbc@shiro-f.jp

URL：http://www.shiro-f.jp/whitecube/

対象エリア：白石市

対象エリアの人口：29,645人

教育環境：小学校／10校 1,113名

中学校／5校 670名

高校／2校

設立年月日：令和5年3月22日

設立母体：(公財)白石市文化体育振興財団

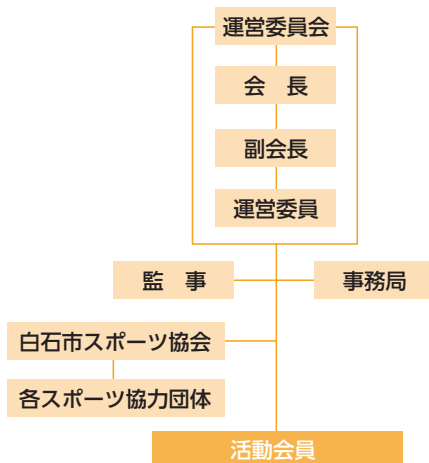
指導者数：6名(有資格者／1名)

● 活動プログラム

スポーツ・レクリエーション種目

グラウンドゴルフ、ビニールバレー、卓球、ボウリング大会、芋煮会、ニュースポーツ(囲碁ボール、シャフルボード、ポッチャ、ユニカル、グランドダーツ、オーバルボール)、体づくり教室(幼児)、部活動支援：バスケットボールスクール

● 組織図



● 管理施設

指定管理施設

白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ)、白石城、歴史探訪ミュージアム、武家屋敷、小十郎プラザ

● 活動施設

市町村スポーツ施設

白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ)、白石市スポーツセンター

市町村公民館等施設

白石市中央公民館、白石市グラウンド・ゴルフ場【緑地公園】

学校体育施設

白川中学校体育館、南中学校体育館

● クラブハウス

白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ)

所在地：〒989-0218

白石市鷹巣東二丁目1番1号

施設の種類：市町村施設



● 設立の過程

● 平成27年度

平成27年に検討会議が行われたが、当時は県と市の考え方がかみ合わず、クラブ設立には時期尚早との関係者の思いがあって、新たな方向性をみいだせないままとなっていた。

● 令和3年度

白石市の実態として、当財団は、スポーツ教室等も開いており、地域住民のスポーツ活動を支えており、(運動だけではなく文化系の広がりも可能)これをふまえ、宮城県スポーツ協会との意見交換会を行い、担当者からは、当財団が主体でも問題がない旨の回答を得ている。

● 令和4年度

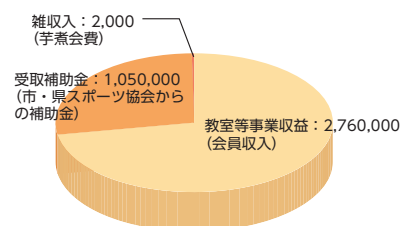
総合型地域スポーツクラブ設立に向けて基本的には活動拠点となる施設を持ち、施設の有効活用を図りながらスポーツ教室等の開催ノウハウを持つ公益財団法人白石市文化体育振興財団が最適任であると考え各スポーツ関係団体からの協力を得てクラブを設立。

会員の声

- ★健康的で楽しく活動ができています。(健康いきいき)
- ★ほかをやってみたい。(健康いきいき)
- ★クラス分けを行ったことにより、子供たちが安全に楽しく活動できています。(体づくり)
- ★運動が好きになり早起きになりました。(体づくり)
- ★試合を想定した練習ができていたので楽しい。(バスケスクール)
- ★元プロの選手なので教えてもらえてうれしい。(バスケスクール)

● 活動の財源

予算総額：3,812,000円



グラフ中の単位：円

会費内訳(年会費)

活動会員大人

会費1,000円×12ヶ月×50人=600,000円

活動会員幼児

会費2,000円×12ヶ月×30名=720,000円

活動会員中学生(バスケ)

会費4,000円×12ヶ月×30名=1,440,000円